

1. 単元（題材） 大地をさぐる
2. 本時の目標 円柱モデルをつくり、地層が面で広がっていることに気づく
3. 学習展開（第2次 第2・3時）
4. 本時の展開

学 習 の 流 れ	指 導 上 の 留 意 点 ・ 支 援
<p>実際に、自分たちの町ではどのように地層が広がっているか予想してみよう。</p>	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 校区内の3カ所のボーリング資料から作った円柱モデルをつなげて、高羽の町の地層の広がりを予想してみよう。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 同じ色の画用紙は地層が一緒だからつなげることができる。 ○ 同じ色の所でも、高さや幅が違うからこれは別の地層だ 2. 各班ごとにどのような考えで3本の円柱モデルをつないだかを発表する。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 自分達の所は重なっていないが、他の班では地層がクロスしているところがあるね。 3. 地層の広がりに関する Ct を見て、地層の広がりに関して理解する。 4. 地層の広がりに関してまとめる。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 地層は局地的につながっているだけでなく、面として広い範囲でつながって形作られている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地層が面で広がっていることに気づくように支援する。 ・ 同じ色の色画用紙が、同じ地層であることに着目させて、繋がりを予想させる。 ・ 同じ色の画用紙でも、幅や場所が違うことで、つながりのない地層だと考える児童がいるが、前時の学習で、地層は平面的な広がりがあったことを思い出させ、そこから面へのつながりに気づかせたい。 ・ 十分な時間を与える。 ● 地層を面の広がりで見えられているか。 ・ 地層の広がりに関する Ct を見せ、地層が面として広い範囲に広がっていることに気づかせる。